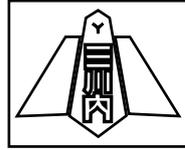


学校だより 令和5年度版

あったか三川内



令和5年 4月28日
佐世保市立三川内小学校
校長 磯平 正敏

学校教育目標：「夢に向かい 自ら学び、考え、行動する 心豊かな子どもの育成」
郷土「三川内」に誇りをもち、たくましく未来を切り拓いていく、
心豊かで元気のある子どもを育成する。

【元気に外遊び・・・】



春の日射しが心地よい朝。子どもたちは登校するとすぐに、ボールをもって運動場に駆け出していきます。運動場では、幾つかの学年やグループごとに、ドッジボールやサッカー、ブランコなどをして元気に遊んでいます。時には、学年が入り混じって遊んでいることもあります。微笑ましい光景です。8時20分から朝の会が始まりますが、5分前には自分たちで遊びをやめ各教室に戻っていきます。ともすると、遊びに夢中になり朝の会に遅れがちになるのですが、三川内っ子はそうではなく、自分たちで声を掛け合いながら、朝の会に間に合うよう行動することができています。外で遊んでいたかなあとすると、いつのまにか子どもたちの姿はなく、教室に戻っているところを見かけます。すばらしいことです。これからも、このようなけじめのある行動をしていきましょう。



【鯉のぼりをあげました】



5月5日（金）は子どもの日、子どもの日に鯉のぼりを飾るところが多いですね。鯉のぼりの始まりは江戸時代とされています。江戸時代、江戸城で将軍のお祝いをする重要な日があり、その日が端午の節句である5月5日でした。では、なぜ鯉なのでしょう。昔から鯉は生命力が強く縁起のいい生き物として扱われてきました。他の魚に比べると、鯉はきれいな水の中のみならず、汚れた沼や池の中でもしっかりと生きていける力をもっています。また、中国では「鯉の滝登り」と言う言い伝えがあり、「鯉は激しく流れる滝を登り、龍になって天へ昇る」とされ、立身出世の象徴とされていたそうです。「愛する我が子が、鯉のように強く立派に出世していきますように」との親の愛情が、しっかりと表現され受け継がれてきたのです。鯉のぼりを飾る意味を聞かれた際には、「あなたのことが大切だから飾るんだよ。」と、（鯉のぼり＝親から我が子への愛情の象徴）と、伝えてあげてもいいですね。



【待ちに待った大型連休！】



4月29日～5月7日までの大型連休が始まります。今年は、中日の1・2日が休みではなく、明日からの2連休・後半5連休となっています。連休明けには新型コロナウイルス感染症も5類感染症に位置付けられる予定であることから、脱コロナの動きも活発になってきて従来どおりの人や車等の交流が予想されます。各ご家庭におかれましても、家族で旅行に出かけたり親戚の家に行ったり、または、親戚の人が集まったりすることがあるかもしれません。新型コロナウイルス感染症も、落ち着いてきている様子ですが、なくなったわけではありませんので、感染予防に十分気を付けながら、連休をお過ごしください。また、本校校区は、佐世保の玄関口でもあり他県からの人や車の往来も多くなるとおられます。家の周りや道路では、交通事故に十分気を付けるよう、ご家庭でもご指導ください。よろしくお祈りします。